

白蘭



白蘭小学校 学校便り
第8号
令和元年10月24日(木)

【学校教育目標】

- 深く学ぶ子
- 心豊かな子
- 健康な子
- 未来をつくる子

「時間」を有効に ～白蘭の子どもたちの無限の可能性のために～

室蘭市立白蘭小学校 校長

10月12日(土)の学芸会には、多くの保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のご来校をいただき誠にありがとうございました。子どもたちは、努力した成果を一杯発揮していたと思います。皆様のあたたかい拍手に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、この日の校長挨拶でも話題にしましたが、今、学校現場で最も貴重な資源である「時間」についてさらに詳しくお伝えしたいと思います。次年度から、新学習指導要領の完全実施により、3・4年で外国語活動が35時間、5・6年で外国語(教科)が70時間になり、3年生以上で、数年前より年間授業時数が35時間増えることとなります。また、暴風警報等による臨時休校等で授業時間を失うことにも備えておかななくてはなりません。このような中、本校では様々な工夫をして授業時間を確保し、充実した時間になるよう努力しています。例えば、今回の学芸会では、各学年で早くから計画的に練習を進めたり、効率的に練習したりする等して当日を迎えました。本校の子どもたちは、運動会の時と同様、時間を意識して練習を進める力があり、効率的に取り組んでいました。子どもたちの当日の発表内容もすばらしかったですが、日々の練習に取り組む練習の「過程」も立派だったと思っています。

このように本校では、子どもたちの可能性を広げるため、「学習指導要領」という学校の教育課程の基準となるものをしっかり実現し、バランスよく学びを構成・実施できるよう、検討・努力を積み重ねています。例えば、昨年度、標準時数よりも少し多めに実施した「図工」については、今年度、内容を検討し、バランスのよい時間構成で行うことができるよう工夫しました。また、運動会では、開・閉開式の持ち方を工夫し、短い時間でも練習が進められるよう工夫しました。そして、工夫して生み出した時間を、子どもたちを伸ばすために本当に必要な学習や活動に用いることができるよう、日々、努力しています。

本校の子どもたちは、とても素直で、「校長先生、休み時間、鬼ごっこをしよう!」「ブランコで遊ぼう!」「ボールで遊ぼう!」等と気軽に誘ってくれます。私も、時間がある時は一緒に遊ぶこともあります。また、現在は、体力づくりで低・高学年に分かれて二つのコースで走っています。私も、子どもたちと一緒に走っています。そんな中、モルエラニの坂の向こうに広がる海を感じながら、二つのコースで、活力を



休み時間の体力づくり ～子どもたちの可能性は無限大～

持って走る子どもたちの様子が『無限大(∞)の記号』のように見えてきました。そして、ふと「白蘭の子どもたちの可能性は無限大だなあ……」という気持ちが高まり、エネルギーがわいてきました。

本校では、これからも白蘭の子どもたちの無限の可能性を広げる教育活動を充実して参ります。今後も保護者、地域、関係機関の皆様の白蘭小学校へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。